

Volunteer Training Program at the University of Michigan



高齢者の心のケアをめざす

(第8回) ボランティア・ミシガン研修

2018年10月21日~10月28日



高齢者や被災者の心のケアにあたる
ボランティアの皆さまにお勧めします

研修のご案内

紅葉のキャンパスで

ひとの心を支えるあり方を学びましょう

森と湖に囲まれた美しい街・ミシガン州アナーバー市の中心に位置するミシガン大学は、医療・保健および老年学の分野において学術的・臨床的成果を修め、高い評価を得ています。

「ボランティア・ミシガン研修」は、少子高齢社会及び人口減少社会における社会福祉の増進を図ることを目的に、心のケアをめざすボランティアを同大学に派遣し開催します。

同大学ヘルスシステム附属の「ターナークリニック」では、患者と同じ高齢ボランティアの協力のもと、地域での在宅療養に力を注いでいます。1979年にクリニックが開所して以来、ソーシャルワーカーのルース・キャンベルさんは「ピア・ボランティア」を組織して地域に貢献してきました。「ピア」とは「同僚・仲間」の意。同じ年代のボランティアが定期的にも高齢患者の自宅を訪ね、話の聴き役となる友愛訪問を行っています。“心のケア”は専門家でないといえませんが、友人や家族にも言えないような悩みや、心に秘めた辛い話などを聴き相手に寄り添っていく。それにより相手の方が元気を取り戻していくというのが友愛訪問の目的です。

本研修では、日本の医療・保健・福祉に造詣の深い講師陣が、傾聴が果たす役割の大きさなど、ひとの心を支えていくあり方について、わかりやすく教えてください。事例を交えての講義のほか施設見学、現地のボランティアとの交流やボランティアに同伴しての活動なども体験できます。また、野外でのアクティビティで楽しくチームワークを学び、自分を見つめる体験学習なども用意しています。

どうぞこの研修を通してご自身の人生と活動に、新しい風を吹き込んでください。



ミシガン大学キャンパス

講師紹介



フォーク阿部まり子 ミシガン大学ミシガン・メディシン 臨床ソーシャルワーカー
Mariko Abe Foulk, ACSW

略歴：ミシガン大学ミシガン・メディシンで高齢者と家族の社会心理アセスメント、ケアマネジメント、カウンセリング、ソーシャルワーカーおよび関連医療職種の実習生の研修、スーパービジョンに長年携わり、現在は主にマインドフルネス・グループ心理療法および個人カウンセリング、フレンドリービジターのコーディネーターと関節炎サポートグループをしている。2003～2005年まで東北福祉大学大学院で教授を務めた。



ルース・キャンベル ミシガン大学附属ターナークリニック 元ソーシャルワーク部長
Ruth Campbell, MSW

略歴：ターナークリニックでソーシャルワーク部長を29年務めた。ピア・ボランティアを組織し、地域の高齢者や家族のために、ボランティアと共に数多くのサポートプログラムを開発。2006年から東京大学老年学研究プログラム客員研究員。

カリキュラムの概要

10月21日	成田空港発→デトロイト空港着→ホテルへ移動
22日	講義『ボランティア活動の目的』、『ピア・ボランティアの歴史と活動』 交流『ピア・ボランティアとのディスカッション』 見学『ターナー・シニア・リソース・センター』
23日	見学『現地ボランティアに同伴して活動見学』、『ターナークリニック』
24日	体験『チャレンジ・プログラム』
25日	見学『アーバーホスピス』 交流『地域サービス機関の紹介』、『日米ボランティアの意見交換会』
26日	講義『認知症、うつ、悲嘆』、『傾聴と共感、ライフレビュー、ロールプレー』 総括『研修を振り返って』 修了式
27日	デトロイト空港発→成田空港着（10月28日）

※カリキュラムは変更になることがあります
※全てのカリキュラムに通訳がつきます

●当財団ホームページで研修の様子をご覧ください
だけです。

www.univers.or.jp



日米ボランティアの意見交換会

『ルース・キャンベルさんの講義』から

相手のペースに合わせる大切さを覚^しる

ボランティアが活動をする上で注意していただきたいことは、相手に無理に「喋らせよう」としないことです。それでは「あるがままを受け入れる」ということになりませんし、自分の「喋るべきだ」という価値観、自分のペースの押しつけになってしまうからです。ボランティアには元々積極的な人が多いのに対し、クライアントの中には消極的になっている人も多いためです。無理に喋らせようとするのは相手を見殺しにしたボランティア側の満足にすぎないのではないのでしょうか。長期的、定期的な活動の中で、相手のペースに合わせて口を開いてもらうことが大切なのです。

参加者の声より

▶お互いに信頼しあうということがどんなに素晴らしいことか。また、信頼できる人がいるということが、どんなに心に平穏をもたらすことか、つくづく感じました。こうしたボランティアを継続させることができれば、世の中も変わっていくのではないかと思いました。

▶この研修を通して、聴くことの大切さを学びました。大切なのは、相手の方の尊厳を守り、その方の考え、思いを大切に、寄り添うことだと教えていただきました。ボランティアにできることは、ただそばに居てその方の自立を見守ってあげること、という認識を新たにしました。

募集要項

募集人員：15名

日程：平成30年10月21日（日）～10月28日（日）

開催場所：ミシガン大学ミシガン・メディシン附属ターナークリニック
その他（米国ミシガン州）

参加対象：高齢者と接するボランティア、災害被災者への傾聴ボランティア
など、心のケア活動に取り組まれている方
（プログラムには通訳がつきます。）

費用：15万円（概算）

この旅行を取扱う旅行会社から国際航空券を購入していただきます。

宿泊先：グラデュエート・アナーバー・ホテル（お部屋はツインルーム）



宿泊ホテル 外観

申込方法：参加希望の方は以下のものをユニバー財団宛に郵送にてご提出ください。

* 所定の申込書

* 800字程度の作文

テーマ「ボランティア・ミシガン研修に臨むにあたってーボランティア活動の経験を踏まえてー」

応募締切：平成30年8月17日（金）当日消印有効

選考結果：平成30年9月7日（金）までに、書面にてご連絡致します。

* ご提出いただきました書類は返却致しませんのでご了承ください。

* 採否の理由など、選考に関わる内容についてのお問い合わせには応じかねます。

備考：* 参加決定後に提携する旅行会社に申し込んで、成田空港ーデトロイト空港往復国際航空券を
購入していただきます。（15万円を超えることはありません。）

* 宿泊代、保険料は、当財団でお支払い致します。（海外旅行傷害保険に加入していただきます。）

* 次のものは個人負担していただきます。

○ パスポートの取得、ESTA申請にかかる費用（未取得・未認証の方のみ）

○ 自宅から成田空港までの往復交通費

○ その他現地での小遣い等

* 日本発着空港は成田空港とさせていただきます。

* 研修参加に際して特別な配慮を要する場合は、選考後に費用の他、参加に向けての協議を
させていただきます。

* オリエンテーション（出発準備ガイダンス）を9月30日（日）に都内で行います。

* 研修終了後に報告書（レポート）を提出していただきます。

* 個人情報の取扱いについて

参加申込書にご記入いただいた内容は、参加者選考、当財団からご本人への連絡以外には使用
しません。なお、参加決定者については「氏名」「所属ボランティア団体名」を講師・スタッフ
参加者等の研修関係者に公表します。予めご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ先 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階



Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008

http://www.univers.or.jp E-mail: info@univers.or.jp